ActiveImage™ 2022 PROTECTOR

Nutanix AHV

Nutanix AHV仮想化基盤に最適化されたバックアップソリューション

ActiveImage Protector™ 2022 Nutanix AHVは、Nutanix AHV環境で稼働する仮想マシンに最適化されたバックアップソリューションです。仮想マシンにエージェントをインストールすることなく、エージェントレスでバックアップを取得できます。仮想マシンの台数が増加した場合でも、管理負担を抑えながら、効率的なバックアップ運用を実現します。また、異なる仮想化基盤で取得したバックアップデータを活用し、Nutanix AHV環境へのシステム移行（V2V）にも対応しています。既存のシステム資産を有効活用しながら、スムーズな仮想化基盤の移行を支援します。

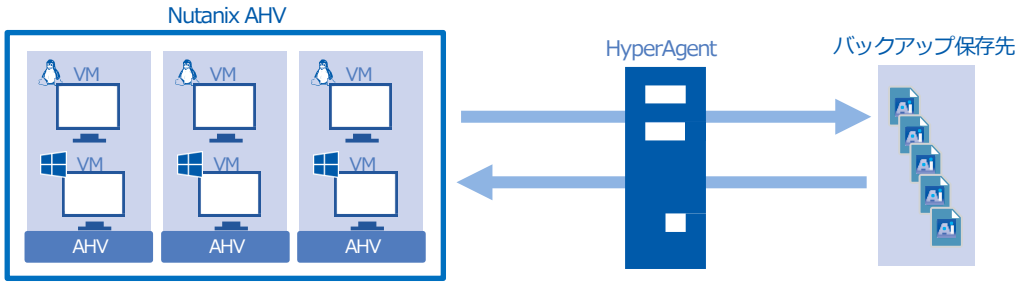
※2026年11月25日現在、Linux OSについては「エージェントベース バックアップ」のみ対応となります。

バックアップ運用の効率化	柔軟な仮想基盤移行	多様な環境への対応
エージェントレスで仮想マシン単位のバックアップ・復元が可能です。バックアップ対象の管理負担を軽減し、システム障害時にも必要な仮想マシンを個別に復元できます。	異なる仮想化基盤で取得したバックアップデータを活用し、Nutanix AHV環境への移行（V2V）に対応します。仮想化基盤のリプレースや統合など、ITインフラの刷新・最適化を支援します。	ネットワークセグメンテーション、HotAdd、ボリュームグループ（VG）に対応しています。Nutanix AHVの多様な構成に対応したバックアップ環境を実現し、柔軟なデータ保護を支援します。

特長

エージェントレス バックアップに対応

仮想マシンにActiveImage Protector™をインストールすることなく、HyperAgent™を利用したエージェントレス バックアップを実現します。仮想マシン単位でバックアップおよび復元が可能なため、個々のシステム障害にも柔軟に対応できます。ゲストOSへのエージェント導入が不要なため、導入作業や管理負担を軽減できます。仮想マシンの台数が増加する環境でも、効率的なバックアップ運用を実現します。



ネットワークセグメンテーション（転送ネットワークの分離）に対応

Nutanixのネットワークセグメンテーション（転送ネットワークの分離）に対応しています。これにより、管理用ネットワークとiSCSI専用ネットワークを分離したNutanix AHV環境でもバックアップを実行できます。ネットワーク構成に応じた柔軟なバックアップ運用を可能にし、ネットワークトラフィックの最適化と、セキュリティを重視した仮想化基盤のデータ保護を支援します。

ダイレクトアタッチ（HotAdd）に対応

Nutanix AHVのダイレクトアタッチ（HotAdd）方式に対応しています。バックアップ対象の仮想ディスクをバックアップ用仮想マシンに一時的に接続してデータを読み取ることで、バックアップ対象の仮想マシンにかかる処理負荷を軽減します。これにより、バックアップ対象の仮想マシンへの影響を抑え、効率的なバックアップ運用を実現します。

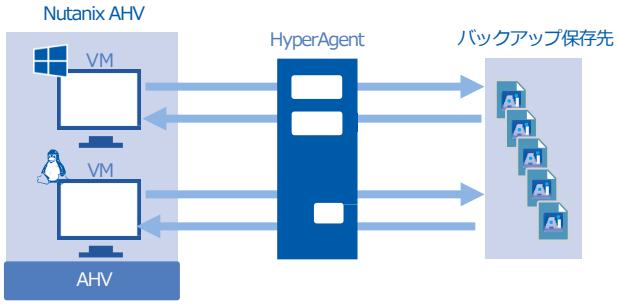
ボリュームグループ（VG：Volume Group）に対応

Nutanix AHVのボリュームグループ（VG）を接続した仮想マシンのバックアップに対応しています。仮想マシン本体の仮想ディスクに加え、ボリュームグループを利用する構成にも対応し、Nutanix AHV上のシステムを柔軟に保護します。

エージェントレスで一括バックアップ/復元

エージェントレスバックアップ（HyperAgent™）により、仮想マシンにエージェントをインストールすることなく、効率的なバックアップ/復元を実現します。障害発生時には、バックアップ時点の状態へ仮想マシンを迅速に復元できます。また、ベアメタル復元にも対応しており、新しいハードウェア環境への迅速な復旧が可能です。これにより、業務停止時間を最小限に抑えます。

エージェントレスで仮想マシンごとのバックアップ/復元

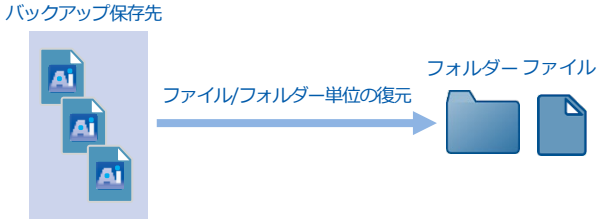


特定のファイル/フォルダーの復元

システム全体のバックアップから、必要なファイルやフォルダーだけを選択して復元できます。システム全体を復元することなく、誤って削除・更新したデータだけをピンポイントで復旧できるため、復元作業の負担を軽減し、業務への影響を最小限に抑えます。

※ クラウドストレージ上のバックアップからは、ファイル/フォルダーを直接復元できません。事前にローカルまたは共有フォルダーへダウンロードしてから復元してください。

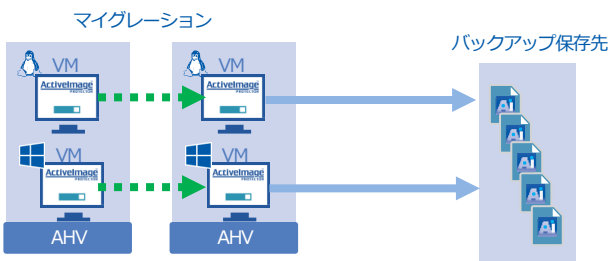
バックアップから特定のフォルダー/ファイルの復元



HCI環境のマイグレーションに対応

HCI環境でマイグレーションされた仮想マシンにも対応しています。仮想マシンの移行先に追従し、継続的にバックアップを実行できます。

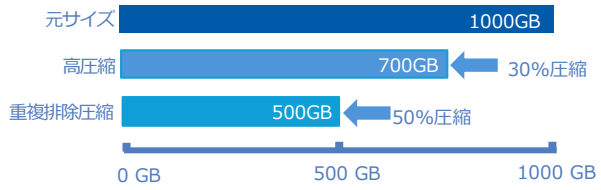
移行先を追従して継続バックアップ



保存容量を抑える増分・圧縮技術

増分バックアップでは、前回のバックアップから変更された部分のみを取得するため、バックアップ時間と保存容量を大幅に削減できます。また、重複排除圧縮機能により、バックアップ時に同一データの重複を自動的に排除し、さらに圧縮することで、ストレージの使用量を削減します。

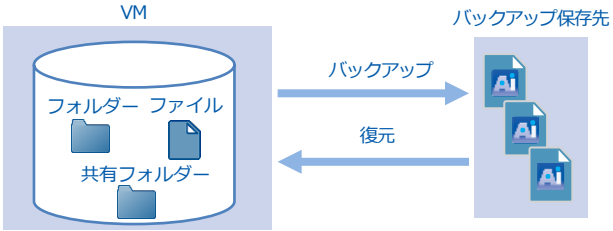
重複排除圧縮



必要なデータだけを選択してバックアップ

システム全体だけでなく、特定のフォルダーやファイルを指定してバックアップすることも可能です。不要なデータを除外する設定にも対応しているため、保存容量やバックアップ時間を最適化できます。また、共有フォルダーのバックアップにも対応しており、業務データの保護にも適しています。

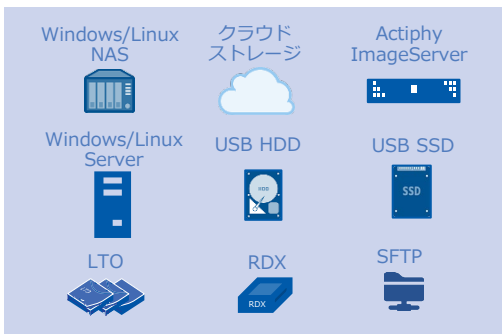
特定のフォルダー/ファイル単位のバックアップ



多様な保存先への対応

バックアップの保存先として、ローカルディスク、USBストレージ、NAS、SAN、SFTPサーバー、テープ装置、クラウドストレージなど、幅広いメディアに対応しています。システム構成やセキュリティポリシーに応じて最適な保存先を選択でき、オンプレミスとクラウドを組み合わせたバックアップ環境の構築にも対応します。

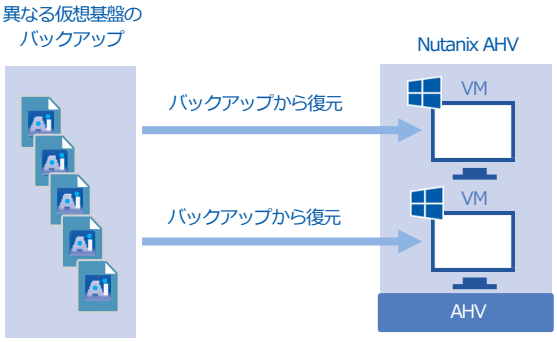
バックアップ保存先



AHV環境への移行をサポート

異なる仮想基盤で取得したバックアップから、Nutanix AHV仮想環境への復元・移行にも柔軟に対応しています。仮想基盤の更新や統合など、戦略的なITインフラの運用を支援します。

復元するだけで移行が完了

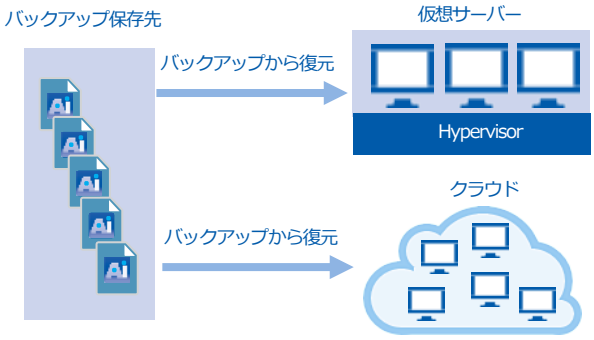


多彩な仮想環境への移行

Nutanix AHV上の仮想マシンのバックアップファイルに仮想化パッケージを適用することで、クラウドを含む多様なインフラ環境への移行に柔軟に対応できます。

※ 移行先の仮想環境には、別途、ActiveImage Protector™のライセンスが必要となります。

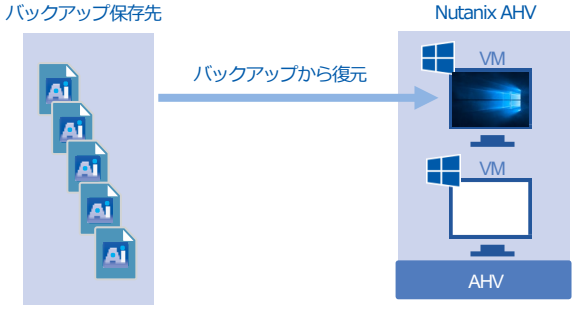
多様なインフラ環境への移行



インスタントブート&リカバリー

HyperRecovery™ LIVE! により、バックアップデータから仮想マシンを直接起動し、サービスの稼働を継続しながら、バックグラウンドで復元処理を実行します。復元完了後は、本番環境へシームレスに切り替えることが可能です。これにより、復元に伴うサービス停止時間を最小限に抑え、実質的に復元待ち時間ゼロを実現します。

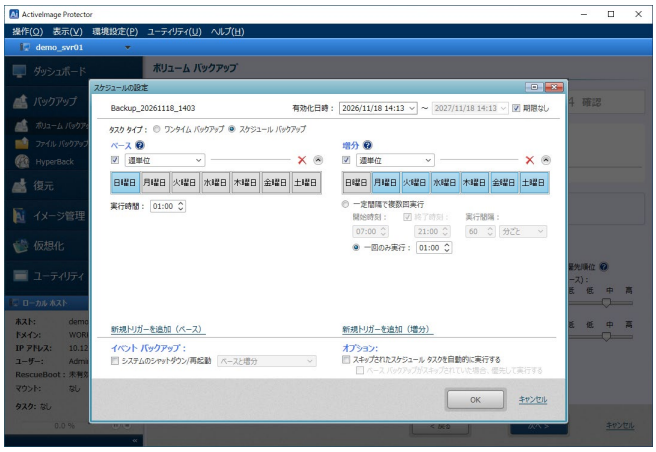
バックアップから即時起動、復元を待たずにサービスを再開



柔軟なスケジュールと世代管理

バックアップの実行スケジュールは、運用方針に合わせて柔軟に設定できます。単発実行に加え、週次・月次や曜日指定など、詳細なスケジュール設定が可能です。また、フルバックアップと増分バックアップを組み合わせることで、効率的なバックアップ運用を実現します。世代管理機能では、バックアップの保持数や保存期間を設定できます。古いバックアップを自動的に整理することで、保存容量を適切に管理できます。

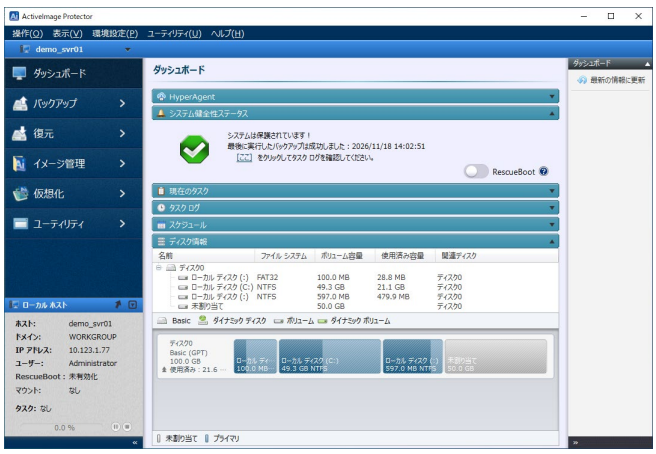
設定例：
・毎週日曜日に、フルバックアップを実行
・月曜日～土曜日は、1日1回、増分バックアップを実行



管理性と運用効率の向上

直感的に操作できる日本語GUIを採用しており、初めての方でもスムーズに利用できます。システムの健全性チェック、バックアップ/復元タスク、スケジュールなどを管理コンソールから一元管理できます。また、各種設定や復元作業はウィザード形式で進められるため、専門知識がなくても容易に操作できます。さらに、リモート管理機能により、複数拠点に分散した管理対象マシンもまとめて管理でき、運用負荷の軽減と管理効率の向上を実現します。

ActiveImage Protector™の管理コンソール



株式会社 アクティファイ　〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8番 NCO神田紺屋町
TEL：03-5256-0877　FAX：03-5256-0878　https://www.actiphy.com　sales@actiphy.com

© 2026 Actiphy, Inc. All rights reserved. ActiveImage Protector、Actiphy ImageServer、Actiphy ImageReplicator、HyperBoot、vStandby、ReZoom it!、BootCheck、ActiveVisor、HyperAgentは、株式会社 アクティファイの商標です。
Microsoft、Windows、Windowsロゴは、米国および諸外国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。その他のブランド名および製品名は、それぞれ帰属する所有者の商標または登録商標です。